

平成18年度著作権分科会私的録音録画小委員会の検討状況について

平成18年8月24日

【検討状況】

- 私的録音録画小委員会は、平成18年4月より、計4回の検討を行った。
- 私的録音・録画をめぐる実情の変化等について、関係団体の実態調査や関係業界の各種統計資料を踏まえ、検討した上で、著作権保護技術の現状や音楽・映像配信の状況について、関係者からヒアリング等を行った（第2回）。
- また、利害関係を有する委員から、検討事項を策定するに当たって、論点となるべき事項を提出してもらった上で（第3回）、議論を行い、検討事項の内容を決めた（第4回）。
- 次回以降、具体的な事項について検討を開始する。また適宜、国内実態調査、海外調査等を紹介し、議論に反映させる。

【開催状況】

第1回（4月6日）	・私的録音録画補償金制度の見直しについて
第2回（5月17日）	・私的録音をめぐる実情の変化等について ・ビジネスモデルと技術的保護手段の現状について①
第3回（6月28日）	・私的録画をめぐる実情の変化等について ・ビジネスモデルと技術的保護手段の現状について② ・今後検討すべき事項の整理①
第4回（7月27日）	・ビジネスモデルと技術的保護手段の現状について③ ・今後検討すべき事項の整理②